



平成から令和へ

会長 昭和三十四年卒 佐々木(久馬)千恵子



今年のゴールデンウィーク中に、平成から令和への移行が予定調和の中で進められました。昭和から平成のそれとは異なり、慶祝の中で行われたのは、時代の変革の一つの形が出来上がったとも言え、人間の知恵の賜物と言えるのかも知れないと思います。

私たちの母校ではこの四月から中学生の姿が見られなくなり、全体の形が変わっていきこうとしています。存続や発展のためには変化が必要ですが、往々にして、大きな困難や痛みを伴い、喪失感すら生み出すから、その選択は大変難しいものではありません。行き着くところ

の青写真を見ることが出来たら...と思います。

さて、同窓会は「会員相互の親睦をはかり」「母校の教育発展に寄与し」「社会公共のために尽くす」と会則で定めています。日頃の同窓会活動では、先ず親睦を図るのが第一となるのが当然のことですが、集まる人があまり少ないとその役割を果たせないかも。皆さんの中で同窓会はどうなものでしょうか。

今回から、会報の郵送数がかなり減ります。かねてからお知らせしてきましたように、全員にお送りするのではなく、郵送を希望するというお返事を頂いた人にお送りする方式をいよいよ開始致します。「送付を希望」と返信されなかった場合は、送付不要の扱いになっております。

財政難を賛助会費で支えて頂いております皆さま、本当に有難

発行所 華頂学園同窓会
〒605-0062 京都市東山区
林下町 3-456 華頂女子高等学校内
URL <http://www.kacho.ed.jp/>
TEL 075(541)0391
FAX 075(541)5962
編集兼発行人 佐々木千恵子

お願い

- ・住所変更はハガキで係までお知らせください
- ・御連絡の場合は卒業の年と旧姓をご記入ください
- ・原稿のご投稿をお待ちします

令和元年度
同窓会総会ご案内

日時 令和元年 10月27日(日)
受付 11時
※11時 15分より記念撮影

会場 都ホテル京都八条(旧 新都ホテル)
京都駅八条口南 TEL:075-661-7111

第一部 総会
議事 ・平成 30 年度決算 令和元年度予算
・会務報告 ・役員改選
清興 バレエ
平成 13 年卒 岩崎純子さん

第二部 懇親会
会費 10,000 円 (写真代を含む)
※9月27日(金)までに下記口座にお振込み下さい。
(口座番号 01010-1-81465 華頂学園同窓会)

うございます。困難な中で強い力を与えてくださっています。

この会報は同窓会のホームページからダウンロードしていただければ、ご覧いただけます。また、秋の同窓会総会にご参加の方にはお渡し致します。

今年の総会は、左の別枠でお知らせの通りで、清興は寺田バレエ団の岩崎純子さん(平成十三年卒)によるソロです。バレエの優雅な姿や舞いをお楽しみ下さい。皆様とのお目もじを心からお待ちしております。

九州支部や東京支部の同窓会にもご参加いただけます。集まりの中では「和顔愛語」の校訓や皆で歌う校歌が、すつとお互いを結んでくれることでしょう。参加することで体感できる同窓会の存在。心の安らぎの場として令和の時代にも守り育ててまいりましょう。



会務報告

平成三十年八月〜令和元年七月

月	日	内容
8月	下旬	30年度分会報発送
8月	25	役員会(学園祭・総会について)
9月	13・14	学園祭模擬店参加協力
10月	10	秋期「趣味のサロン」始
10月	13	役員会(学園祭の反省と総会について)
11月	11・14	30年度総会(新都ホテル)
11月	14	先亡追悼会に代表参加
12月	8	役員会(総会の反省)
12月	30	華頂各種団体新年会に代表参加
2月	16	役員会及び新年会(からすま京都ホテル)
3月	3・2	高校卒業式に代表参加
3月	11	懇親会(京都迎賓会ガイ
3月	17	ドツアー、「御所雲月」にて昼食)
3月	22	九州支部会に代表参加
4月	4	音楽科卒演(京都コンサートホール)
4月	20	春期「趣味のサロン」始
5月	5	役員会(会報・総会について)
5月	26	東京支部会に代表参加(うかい亭)
6月	20	華頂むつみ会懇親会に参加
6月	29	役員会(会報・予算・決算・総会について)

同窓会の皆さんへ

華頂女子高等学校

学校長

中野正明



一年間のご無沙汰でございました。今年も暑い夏がやってまいりました。この数年、「記録的」という気象状況が繰り返されていますが、集中豪雨といい、酷暑といい、地球温暖化との関係で起こっているのかもしれないと感じているのは私だけではないでしょう。

ところで、本校の生徒は日々、穏やかで明るく楽しい校風のもと勉学に課外活動に頑張っています。1学年80人前後という、教育環境としては非常に素晴らしい雰囲気の中、教育熱心な先生により、それぞれの個性が発揮され確実に学習成果がもたらされているものと確信しています。

中学校については既知の通り、平成29年度より生徒募集停止を行なっており、誠に遺憾なことでございますが、平成30年度卒業生をもつて在校生徒が居なくなり、現在休校状態となっています。ただし、中学高等学校一貫教育

課程については今後も教育の質を維持していくことは勿論です。

本校では、同一キャンパスに併設する大学・短期大学との高大連携による5年・7年の教育課程を軸とした特色ある様々な取り組みを展開しており、これが徐々に注目を集めつつあります。(学)佛教教育学園としても現在学園全体の中長期計画を策定中でありますが、そのなかで今後学園内における中等教育の在り方を高等教育にどうつなげていくのかが大きな課題となっております。いずれは伝統と実績を活かした新しい中学校へと生まれ変わることが出来ればと期待しているところです。

学園現況

校長代理 前田千秋

電車の中で新聞を読んでいる人をあまり見かけなくなつたのはいつ頃からのことでしょうか。車中に関わらず、今あらゆる場所で見かけるのは、小ささまざまな画面に目を落とす人々の姿です。紙によつてもたらされていた情報がこのような端末に置き換えられていくことは、便利な反面それにより換えることのできない人々との情報格差がますます拡大することを心配しますが、これほどまでに急速なイノベーション

目の当たりにすると、それに抗うことよりはるその波に乗り遅れないように努めることが求められるのではないかと感じております。

毎年この欄で学校の現況をお伝えしておりますが、最新の情報をまさに掌上に運らすことができるようになった時代に、年に一度学校の様子をお伝えするだけで十分なのだろうか、学校を離れた皆様に時に母校からのお知らせをお届けし、新しい歩みが続ける学校の取り組みに少しでも関心をお寄せいただくことが出来ればと思います。引き続き参りました。

本校のホームページを開設して以来かなりの年月が経ちましたが、近年SNSというサービスが一般化したため、より簡単に情報発信することが可能になりました。本校でもFacebookを使って様々なお知らせを送出して参りましたが、今年からはLINEも加え、学校生活のご紹介やイベントのご案内を行っております。ともすればネガティブな側面が強調されがちなSNSですが、ユーザーが登録したプロフィールや書き込んだ内容などからAI(人工知能)が共通性(母校が同じなど)や同じ趣味・嗜好をもつ他のユーザーを探し当てて提示するなど、お友達を増やすという機能においては非常に優れたソフトウェアであり、有用なツールとしてお使いいただけるのではないかと存じます。

葵茶会

昭和四十七年卒

松井(老田)佳寿子

今年も葵会の御茶会を開催しております。

六十五回目を迎えました。多くの同窓の皆様方の応援のおかげと感謝申し上げます。

かつての茶道人口にはいたりませんが、それでも初めての方と共においで下さる方も多くおられ、喜んでいきます。どの御席も社中ごとの工夫が楽しく、茶道が身近に感じていただけるのではないかと思っています。

どうぞ皆様、お誘いあわせてお越し下さいませ。釜主一同お待ち申し上げております。

今後の予定

二〇一九年

九月八日 釜主会

於京都市国際交流会館

和風別館

十月十三日 松井 宗寿

於白寿庵

二〇二〇年

二月九日 見保 宗定

於白寿庵

三月二十二日 下里 宗恵

於白寿庵

白寿庵・知恩院三門横

友禅苑内

どうかお時間のある時に母校のホームページをご覧いただき、SNSの「お友達」としてつながっていただきますようお願い致します。

さて最後に、紙幅の関係で専任・常勤の先生方のみのご紹介となりますが、教員の異動とファミリー推薦入試制度についてお知らせいたします。

昨年度末をもつて永沼 政彦先生(英語)・吉永 裕先生(国語)・佐藤 容子先生(英語)・廣岡 知恵先生(保健体育)が退任致しました。また、本年四月には、上村 真桜先生(英語)・宮本 麻央先生(保健体育)にご就任いただきました。上村先生は本校のご卒業でもあり、宮本先生とともに学校内にフレッシュな風を吹き込んで下さるものと大きく期待致しております。

本校入試には同窓生にご縁のある方を対象とした「ファミリー推薦」という推薦入試制度があり、この制度を利用してご入学の場合は、更に入学金も免除されるという特典がございます。

この制度は華頂女子中学校・華頂女子高等学校・京都華頂大学・華頂短期大学・華頂短期大学附属幼稚園を卒業卒園、もしくは在学中の方の四親等以内の親族が対象となっておりますので、ぜひご関係の皆様にご紹介下さいますようお願い致します。詳細はご遠慮なく本校アドミニストレーションにお問い合わせ下さい。

最後に、常日頃 母校のことを憂懼頂いている同窓会の皆様に感謝致しますと共に、更なるご支援をお願い申し上げます。

平成三十年度 同窓会総会報告

副会長 昭和四十四年卒 西村(平田)曜子

設立百一年目を迎えた同窓会総会を十一月四日(日)、「新都ホテル」にて開催しました。前年に比べると参加者は少なくなりましたが、五十七名の方々が集まって下さいました。野田秀雄先生や山本四郎先生には毎年出席していただき、有難く感謝申し上げます。また、現職の先生方にはいつも同窓会の運営にご理解とご協力をいただき、心強く思っております。

例年通り、第一部の総会では校歌斉唱に始まり、佐々木会長の挨拶、前田校長代理のご挨拶のあと、会務報告、会計報告、会計監査報告と議事は滞りなく進行了しました。

総会終了後は清興として昭和四十五年卒業の藤田(有田)光子さんがハワイアンソングをソロで踊って下さいました。とてもチャーミングな藤田さんが、誰もが知っている「花は咲く」を優雅に、そして「メカナアオカウボ」という曲をイブ(瓢箪)を持って熱演、軽快な踊りを披露して下さいました。

そのあと全員で記念撮影をして、懇親会に移りました。美味しいお料理を頂きながらの楽しい談話が続き、会場は終始なごやかな雰囲気になっていました。

令和元年の総会は十月二十七日(日) 同じ京都駅八条口の会場で開

催しますが、ホテルの名前が「都ホテル京都八条」と変更となりました。今年もホテルにお勤めの昭和五十五年卒業の前川洋子さんにお世話になります。

会員のみなさまのお出でをお待ちしております。



樟樹会2019

『樟樹会』は華頂中高教職員の同窓会です。今年は六月十八日(火)、からすま京都ホテルの「桃李」で開催されました。

第一部は、この一年の間に亡くなられた英語科の津田昭二先生や、数学科の内田治子先生、永年理科室の事務や実験助手をしておられた長濱朱美さんをはじめ、物故の先輩

九州支部だより

昭和三十五年卒

田中(怡土) 桂子

花冷えの三月十七日(日)、福岡市の「博多料亭 稚加築」にて、九州支部会を開きました。

同窓会本部から佐々木会長をはじめ六名をお迎えし、九州支部は田中君枝さんと幹事の田中が出席して八名の会でした。九州支部からの出席がもつとあればとの思いはありませんが…

お料理は海老・明太子・鴨と春野菜の前菜にはじまり、鯛や鰻八、中トロのお刺身の盛り合わせ、白魚の踊り食い、昆布の容器も食べられる新ジャガのグラタン、鹿児島牛のローストビーフ、筍入り雲丹ご飯など、魚、肉、野菜の美味しい十品目。たっぷり春を堪能できた楽しい和やかな食事会になりました。中

方に黙祷を捧げたのち、総会に入りました。

会長の挨拶では、佐藤淳孝会長の話が長くて、議長から続きは会食の時にと促される一コマも。

広小路先生の乾杯の発声で会食の開始となり、近況報告を交えながら美味しい料理を味わいました。今年のメニューは自分たちで選ぶ形になつていて、次はどれにしようかと選ぶ楽しみもあり、会話はいつそう弾



でも、春だけの博多の風物詩『白魚の踊り食い』は、好きな人苦手な人で、大いに盛り上がりました。

来年は、田中君枝さんのお世話により、大分市で『河豚』をいただく計画をしています。一年に一度、美味しいものを頂きながらの同窓会。初めての方もお久しぶりの方も、多数の皆さまのご出席をお待ちいたしております。

河豚を囲み、フク【福】いっぱい賑やかな会になりますように！

みます。ラストオーダーでは、デザートがたくさん選ばれていたようです。

在職中は、ひたすら忙しかつた記憶が多いですが、この集まりではそれも懐かしく、勤息さんによる最後の「フレイフレー 樟樹会」「フレイフレー、華頂！」の一本締めで解散まで、時間を愛おしむように語り合いました。そして何よりの挨拶は「来年も会えますように！」「お元気で！」(元社会科 佐々木)

東京支部だより

支部長 昭和四十一年卒

桑江(中西) 日出子

五月二十六日(日)、今年の東京支部会の日には真夏なみの暑さでした。その中を京都本部から前田校長代理はじめ、役員の方々にお越しいただき有難うございました。

会場の「うかい亭」は、お料理は勿論のこと、水がきれいなこと、日本庭園が素晴らしいことでも有名で人気の料亭です。ただ、この日はちょうどトランプ大統領の来日と重なり、東京の街の規制が厳しく、交通の便ではご不便をおかけした形になってしまいました。

東京支部会の出席者も年々少なくなり、この先を案じておりましたが、今年は役員が思うように動けず、ご迷惑をおかけ致しましたことをお詫び申し上げます。

校長代理や佐々木会長から「同窓会組織の一環として続けて下さい」との温かい言葉を受け、もう一度原点に戻り、今年の反省をこめて余裕をもつて準備していく覚悟を致しました。藤沢市在住の新實まき様のご協力くださることになり、次年度に向けて準備してまいります。どうか東京支部の皆さまの力強いご支援をお願い致します。出来る限り皆様のご希望に添えるようにいたしたく、ご意見ご要望をお寄せくださいませ。

恩師の近況

同窓生の皆さん

英語科 永沼 政彦

この三月に三十五年間お世話になった華頂女子中学高等学校で「定年退職」の日を無事迎えることができました。

振り返ると、華頂に勤務する以前は、男子校や定時制共学校での勤務経験がなく、初めて教壇に立った時、目の前に女子ばかり（当たり前前のことですが）だったことに圧倒されたことを思い出します。その後、多くの生徒たちや諸先生方に支えられ、何とかこの日を迎

えることができました。心から感謝しております。

今ではとても考えられない八泊九日の修学旅行や、オーストラリアへの修学旅行といろいろな所に行かせていただきました。また、オーストラリアへの語学研修にも都合六回引率し、貴重な体験もさせていただきました。

クラブ顧問もいろいろ任せられました。中々「硬式テニス部」はおおよそ十年間関わり、近畿大会や全国大会ではいろいろな地を訪れました。この三月のある日、クラブのOGが私の定年退職をねぎら

う会を開いてくださり、年代を越えたOGの方々と楽しいひとときを過ごすことができました。

現在は、週三日、非常勤講師として華頂に来ておりますので、機会があれば遊びに来て下さい。お会いできる日を楽しみに待っております。



お礼

国語科 吉永 裕

同窓会の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

この三月で退職しました。平成元年から四年まで非常勤講師として、平成四年から三十一年まで専任教諭として勤めさせていただき、最後まで華頂にお世話になっていくことになります。

実は、華頂の校舎に初めて入ったのは高校三年生の時でした。生

徒会の役をしていた私は、学園祭の見学をさせてもらうために来ました。活気があつていい学校だというとても良い印象を持ちました。その時には、まさか自分が華頂に勤めることになるとは思っていませんでした。何かのご縁があったのでしょうか。

華頂での教員生活でたくさんの生徒と出会うことができました。そして授業や文化祭・体育祭・修学旅行など、皆さんと楽しい思い出をもらえたことに感謝します。クラブ顧問も幾つか経験し、活発

に活動する生徒さんばかりで、どのクラブも思い出に残っています。スケート部を立ち上げ、インターハイに出場できたこともいい思い出になっています。

退職した今、華頂での教員生活を振り返ってみると、楽しかった思い出がいっぱいあります。これは華頂の生徒のお蔭でもあると感謝しています。

また皆さんとお出合いできる機会があることを願っています。

春の懇親会

昭和五十年卒

本庄（中谷） 昌世

小雨が降る中、十時四十分には迎賓館の西門に集合。

京都迎賓館は、海外からの賓客に日本への理解と友好を深めていただくことを目的に、平成十七年四月に開館したそうです。

まず、地下で厳しいセキュリティチェックを受け、ビデオによる事前学習の後、見学に入ります。殆どの方が初めてで、ドキドキワクワク。さあ出発です。

正面玄関の扉は樹齢七百年の樺の一枚板。厳かに迎えてくれました。ロビーとしての「寿楽の間」を経て足を踏み入れたのは「夕映えの間」。晩さん会の待合として使われているとのこと。日本画家の箱崎睦昌氏の下絵を基に、東に「比叡月英」、西に「愛宕夕照」と題する壮大な綴れ織りの壁画がありました。

次の「藤の間」にもより大きな藤の綴れ織りが見事に描かれ、京都の伝統織物の煌びやかな美を堪能しました。

そして最後の「霧の間」。各国の賓客が舞妓さんや芸妓さんの舞やお琴の音に耳を傾けながら舌鼓を打たれる様子が目に浮かびます。

日本の建築、美術、工芸の総力を結集した最高の作品の前に立ち、誰もが圧倒され、ただただため

息ばかり。

そんな中、庭園にかかる廊橋の片隅に、トンボ、バッタなどの可愛い透し彫りを発見。目立たない所に京都人らしい粋な計らいを感じ、ほっこりしたのは私だけでしょうか。

お昼は迎賓館から徒歩数分の「雲月」へ。掘こたつ風のテーブルに次々とヘルシーなご馳走が運ばれてきました。中でも笹の葉に小さく包まった鯖寿司のおいしかったこと。皆さん大満足で、お開きとなりました。四季を通じて楽しめる迎賓館。お勧めです。



2019年3月11日

編集後記

◆今年は多くの原稿をいただきましたが、載せきれずに文章や写真の削減や省略を多用しました。ご容赦ください。

◆この会報が少しでも同窓生の絆を結ぶ媒体でありますように今後とも原稿をお寄せ下さい。

（佐々木）

今年の
新入会員

華頂での日々とこれから

平成三十一年三月 特別進学コース卒業 高橋 日向

私が華頂女子高校に入ったのは、姉がここの卒業生で、毎日楽しそうに過ごしていたからです。そんないい加減な気持ちで入学し、三年間勉強漬けの毎日でしたが、高校生活はかなり充実したものであったと言えます。

部活動はJRC部に所属していました。私が所属していた特進

コースは人数の関係で医療理系コースと同じクラスだったので、クラスメイトの大半がJRC部に入部していました。皆が入るなら私も入ろうという、また軽い気持ちで入部届を出したのです。

けれども、私はJRC部に入っ

たことで、とても貴重な経験ができたと思います。普段の活動である募金活動や献血の呼びかけは言うまでもなく、二年生の夏にはマレーシアの赤新月社から来た女の子をわが家にホームステイとして受け入れて共に生活し、日本で人気のお菓子をプレゼントしたり、清水周辺の観光案内をしたりなど、とても素晴らしい時間を過ごすことができました。

JRCとは

— Junior Red Cross の略で

青少年赤十字の意味。

中高生中心で、ボランティア活動が中心。

海外のJRCとの交流もさかんて、

青少年のリーダー養成の面も担っている。

(京都府立大学文学部 歴史学科一回生)

私の夢

平成三十一年三月 音楽科卒業

柿谷 緋里

私たち音楽科の卒業生は、三月二十七日(水)開催の卒業演奏会に出演しました。それまでの期間、たくさんの練習を重ねてきました。時にはつらいこともありましたが、このステージを終えたことで、とても大きな力を身に付けたと実感しています。

合唱では、先生方から厳しい言葉を受けたこともありましたが、音程をしつかり取り、パート練習に力を入れました。その甲斐もあり、「前より上手になったな」と言っていただき、一番難しいと言われていた『証』は「素晴らしい」と褒めていただきました。

文化祭で上演したミュージカルでは、同級生や先輩方に迷惑をかけてばかりでしたが、音楽科で三年間勉強した結果成長できたのは、親身になってレッスンをしてくれたさつた先生方のお蔭であると感謝の気持ちでいっぱいです。

演奏会を終えて今の私の夢は、いつか九人の仲間と共にリサイタルを開くことです。本当に素敵な仲間に出会えたことに感謝し、九人がそれぞれの道で大きく成長できるようにこれから更に精進していきたいと思っています。

(大阪音楽大学短期大学部 音楽科 弦楽器コース在学)

令和元年度 華頂学園祭

9月12日(木)

午前：演劇(全生徒鑑賞)

午後：展示・模擬店

9月13日(金)

午前：演劇(全生徒鑑賞)

午後：展示・模擬店・フィナーレ

文化祭催し

高1：展示

高2：演劇

(A組は玄関ゲート)

高3：模擬店

模擬店：保護者会

むつみ会

同窓会

バザー：保護者会

『華凛』へのお誘い

普通科卒業生もどうぞ

昭和四十五年卒 藤本(大村)恵津子

練習場所：高校本館音楽室(四階)

視聴覚室(二階)

(学校行事の都合により変更あり)

練習：月一回

土曜日 十四時～十六時
(学校行事の都合により不定期)

月会費：二〇〇〇円

問合わせ先：五十二年卒 荒井(亀田)倫子

自宅(0774)206893
携帯(090)62026893

参加いただける場合は、事前に練習日をお問合わせください。

活動記録

☆音楽法要

安心院・永福寺・大恩寺・正定院・東光寺・信養院など

☆老人ホームの慰問コンサート

「静原寮」・「つきかげ苑」

☆知恩院山門ライトアップコンサート

☆京都ソントクラブのチャリティーコンサート

☆同窓会主催の音楽法要



新川和孝先生

今年度から新川和孝先生を新しく指導者として迎え入れることになりました。これからは音楽科だけでなく、普通科の卒業生の方々と共にコーラスを楽しみ、『華凛』もさらに成長していきたいと思っています。

ご参加をお待ちしております。

2018年度 華頂学園同窓会決算書

(単位:円)

収入の部				支出の部			
項 目	予 算	決 算	差 額	項 目	予 算	決 算	差 額
前年度繰越金	23,431,479	23,431,479	0	総 会 会 合 費	800,000	784,499	15,501
入 会 費 ・ 会 費	1,200,000	1,200,000	0	会報費発送(郵送・印刷)	2,000,000	2,245,747	△ 245,747
受 取 利 息	2,000	1,628	372	名 簿 管 理 費	50,000	0	50,000
賛 助 会 費	400,000	596,000	△ 196,000	印 刷 費 (会 報 除 く)	30,000	0	30,000
趣味のサロン会費	250,000	339,000	△ 89,000	通 信 費	70,000	78,267	△ 8,267
総 会 費 他	600,000	460,000	140,000	卒 業 生 記 念 品 代	45,000	47,088	△ 2,088
				慶 弔 費	50,000	100,000	△ 50,000
				趣 味 の サ ロ ン	250,000	255,277	△ 5,277
				ホ ー ム ペ ー ジ 維 持 費	50,000	0	50,000
				消 耗 品 費 ・ 雑 費	15,000	2,902	12,098
				教 育 活 動 費	90,000	100,000	△ 10,000
				予 備 費	100,000	0	100,000
				次 年 度 繰 越 金	22,333,479	22,414,327	△ 80,848
計	25,883,479	26,028,107	△ 144,628	計	25,883,479	26,028,107	△ 144,628

財産目録

項 目	金 額	項 目	金 額
滋賀銀行普通預金	1,206,615	滋賀銀行定期預金	5,000,000
りそな銀行普通預金	285,137	りそな銀行定期預金	15,000,000
ゆうちょ銀行普通預金	826,538		
小計	2,318,290	小計	20,000,000
現 金		96,037	
合 計		22,414,327	

2019年度 華頂学園同窓会予算書

(単位:円)

収入の部				支出の部			
項 目	本年度	前年度	差 額	項 目	本年度	前年度	差 額
前年度繰越金	22,414,327	23,431,479	△ 1,017,152	総 会 会 合 費	800,000	800,000	0
入 会 費 ・ 会 費	1,020,000	1,200,000	△ 180,000	会報費(郵送・印刷)	1,800,000	2,000,000	△ 200,000
受 取 利 息	2,000	2,000	0	名 簿 管 理 費	100,000	50,000	50,000
賛 助 会 費	400,000	400,000	0	印 刷 費 (会 報 除 く)	30,000	30,000	0
趣味のサロン会費	250,000	250,000	0	通 信 費	70,000	70,000	0
総 会 費 他	600,000	600,000	0	卒 業 生 記 念 品 代	45,000	45,000	0
				慶 弔 費	50,000	50,000	0
				趣 味 の サ ロ ン	250,000	250,000	0
				ホ ー ム ペ ー ジ 維 持 費	50,000	50,000	0
				消 耗 品 費 ・ 雑 費	15,000	15,000	0
				教 育 活 動 支 援 費	70,000	90,000	△ 20,000
				予 備 費	100,000	100,000	0
				次 年 度 繰 越 金	21,306,327	22,333,479	△ 1,027,152
計	24,686,327	25,883,479	△ 1,197,152	計	24,686,327	25,883,479	△ 1,197,152

2019年7月11日 会計監査 高科 弘子 藤田 光子

同窓会の皆さまに、1口5千円の賛助会費をお願いしております。
同窓会収入の根幹となる入会金(新卒業者)の減収を埋めるべく是非ご協力下さい。
まだ拠出していただいていない方は、振込用紙または右記口座へ卒業年を明記してお振り込みくださいますようお願いいたします。

口座番号 01010-1-81465
華頂学園同窓会



松川郁子	木羽敦子	笹原秀子	松岡慶子	小酒井治美	(昭和三十三年卒)	瀧高房子	水江幾子	(昭和三十一年卒)	加藤康子	服部要子	佐藤春枝	高野都	(昭和三十年卒)	神林達子	(昭和二十九年卒)	駒宮堯江	(昭和二十七年卒)	小見山万喜子	高橋園子	(昭和二十四年卒)	小山ルリ子	(昭和二十二年卒)	齊藤敏子	(昭和二十一年卒)	和田智子	山川二三	(昭和二十年卒)	儀賀好子	(昭和十九年卒)	那波末子	(昭和十六年卒)	大槻鈴江	(昭和十五年卒)	佐藤亮子	河原智子	(現職教員)	佐藤容子	山本四郎	福井利男	野田秀雄	(旧職員)	
2	1	1	1	1		2	1		1	1	1	2		1		2		1	1		1		1		1	1		1		2		1		2		1	2	1	4			
川田陽子	小寺敏美	向山茂子	(昭和四十三年卒)	龜高扶美子	(昭和四十二年卒)	匿名希望	西川トモ子	桑江日出子	眞砂智恵子	小林芳子	西田和子	上野富美子	大室瑞恵	(昭和四十一年卒)	吉田千代	(昭和四十年卒)	生江明子	神木秋美	(昭和三十八年卒)	植村綾子	佐々木光子	(昭和三十七年卒)	森ふさゑ	中山陽子	石井希代子	(昭和三十六年卒)	田中桂子	長久保翠	(昭和三十五年卒)	井元優子	田村勢津子	山下浩子	小山京子	正木清子	藤本美智子	佐々木千恵子	黄瀬尚子	学年同窓会	(昭和三十四年卒)	佐竹紀美子	寺田正子	(昭和三十三年卒)
2	2	1		1		0.2	1	2	1	1	1	2	1		1		1	1		1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	1	2	2	1	2	2	1	2	1	2		

昭和三十年 中学卒の同窓会

佐竹(植田)紀美子
奥村(酒井)茂登子

令和元年六月九日(日)、昭和三十年華頂中学卒業生の集いを開催しました。会場は中学時代の

昭和四十八年 中学校の同窓会

今井(小川)裕紀子

令和になり、記念すべき年の五月十一日に第七回目の中学校同窓会を、同級生の「ブレラ」という素敵なピアノバーで恩師佐々木千恵子先生と成田光生先生をお迎えして催しました。

今回は音楽がテーマで、先生方のご挨拶の後、クラスメートがカルメンの曲を美しい音色のピアノ伴奏で熱唱。いっぺんに会が盛り上がりました。会食しながらの近況報告では、家族・仕事・病気といろいろな話題で話は尽きず、人生の良

い勉強をさせていただきました。後半は、「月かげ」「今ささぐ」と仏教聖歌を歌い、「覚えているものね」と懐かしく感慨深い気持ちになりました。続いて、平成の代表曲「花は咲く」を未来への希

同級生、岡島(小西)美智子さんご夫妻のお店「彩味処こかし」です。以前から一度会場にと思いつながら実現せず、年齢的にも最後の機会となりそうな今回、初めて集うことになりました。

正午の開宴で、出席者は二十名。東京・横浜・新潟・福井からの参加者もあり、おしゃべりに花が

望をもって歌い、ピアノの生カラオケで佐々木先生が演歌の「愛のワルツ」、成田先生がシャンソンの「愛の讃歌」を披露してくださいました。感情をこめてしみじみと語りかけるように歌ってください

り、先生方の多才な一面を見せていただき、お元氣な姿にパワーをいただきました。

最後に校歌を何十年ぶりかで歌い、歌詞や旋律の美しさを再認識して、誇らしい気持ちになりました。年齢を加えて先生方や同級生と



咲き、時には大盛り上がり、場面もあり、これまでにない賑やかな元氣いっぱいの時を過ごしました。

ティータイムは平安神宮の赤鳥居が見える白川沿いに最近オープンした「時妨舎」というカフェレストランで、さつきとは違った雰囲気を楽しみました。

卒業六十周年記念学年同窓会を開いて

昭和三十四年卒
田中(谷川)孝子

木々の緑が日に日に濃くなり、風が気持ちのよい新元号の令和元年六月十二日(水)、「御所西京都平安ホテル」にて、高校卒業六十周年記念の学年同窓会を開きました。恩師の高橋恵昭先生、福井利男先生もご出席くださり、総勢五十二名が集いました。

卒業四十周年を始まりとして、五十周年、そして五年前に五十五周年の学年会を開いた時にはこれで学年会はおしまいだと思つただけに、今回の開催には感慨深いものがあります。遠方からお泊まり参加の人もあり、心は同じだなあと思いました。

最初にスタジオで記念撮影をしてから会場の「平安の間」に移りました。司会と挨拶は、これまで通り竹内さんと佐々木さん。宗

この春、私たちが学び、遊んだ中学校が閉校になりました事、寂しい思いと共に、懐かしい感じもしています。

時の流れというものでしょうかこの先はお互いに誘い合つて集う機会を作りましょう!と、手締めはせずに、お開きにしました。

歌「月かげ」の斉唱では若かりし日々が甦ってくるようでした。

開始が二時と少し遅い時刻だったのでお食事待ち遠しく、乾杯のあとはお料理に舌鼓。食事の半ば、福井先生には「自身の事やご子息のお話を聞かせていただき、高橋先生からは「今出来ることを頑張つて生き切ろう」と力強い励ましのお言葉を頂きました。

食事をしながらの会話では、クラスの違い者同士も自然に打ち解けて語りあい、食べ、笑い、お喋りをしてると年齢を忘れ、時を忘れて、かけがえのない幸福な時間を共有することができました。

最後は懐かしい校歌を斉唱して河内さんの閉会の言葉で散会となり、これからも元氣に齢を重ねていきますようにと祈りつつ、

賛助会費のご協力 ありがとうございました。

平成30年7月～令和元年6月合計596,000円 104名 (敬略称)

(昭和四十四年卒)	西村曜子	1	(昭和五十六年卒)	矢野眞由美	1
榊ヒロ子	1	(昭和五十七年卒)	阿部和美	1	
左田野賀代	1	(昭和五十八年卒)	丹羽恵	1	
片岡慈子	1	(昭和五十九年卒)	井原葉子	1	
増田雅代	2	(昭和六十一年卒)	北村陽子	1	
(昭和四十六年卒)	西川みゆき	1	(昭和六十二年卒)	川崎恵子	1
仲野弘子	1	(昭和六十四年卒)	山羽めぐみ	1	
有沢小枝	2	(昭和六十六年卒)	植木美奈子	1	
(昭和四十七年卒)	大橋恵子	2	(平成一年卒)	米澤彰子	1
(昭和四十八年卒)	勸患地香子	1	(平成三年卒)	岡部摩未子	1
川崎隆子	1	(平成五年卒)	矢野恵美	1	
(昭和四十九年卒)	石口雅子	1	(平成十六年卒)	梅崎あゆみ	1
上地由起子	1	(平成二十八年卒)	本庄恵子	1	
(昭和五十年卒)	本庄昌世	1	(昭和三十七年中学卒)	西川ヘレン	2
(昭和五十二年卒)	服部寿美枝	1			
(昭和五十五年卒)	前川洋子	1			
小石恵子	1				
吉川満子	1				
望月典子	1				



あれから四十五年

昭和五十年卒
坂本（高橋）知子

あれから四十五 years が過ぎました。早くも過ぎた卒業後の年月。この学年でクラス会を開催し続けているのは、七組と五組ぐらいです。担任だった鈴木ゆみ先生を私達の還暦の年にお見送りした後は、お父さん先生（ご主人様）が代わりに私たちを見守りに来てくださり、

開催を続けています。何といつても、とても個性的なメンバー揃いですが、お互いを認め合い、受け入れ団結できるのです。
今の年齢になると、自分自身の健康や家族の介護、孫のお世話などいろいろな事象がでてきます。その時間の中で、クラスには友達が居なかつたから等の思いは私たちのクラスには通用しません。久しぶりに参加しても、お互い解り合え、直ぐに五組に戻れます。



今回は三年先（二〇二三年）の五月下旬です。皆で集まって五組だったころの楽しい時を過ごしましょう！

第六十四回華梢会

昭和三十一年卒
岸（安村）初乃

華梢会は、昭和三十一年三月に卒業した七組が毎年一月十五日に開催しているクラス会です。

一度も中止する事なく第六十四回目を迎えました。私たちは二年前に「傘寿」を過ぎ、恩師の山本四郎先生は九十九歳の「白寿」になられ、お元気に出席いただきました。

昨年、大病をされましたが回復され、元気なお姿に感銘を受け、勇気ややる気をもらいました。
結婚や子育て等の大変な時期にも休むことなく続けられたことはそれぞれの幹事さんのご尽力の賜物と感謝しています。

趣味を楽しんだり、健康寿命に留意しながら一日一日を大切に頑張ろうと話はずけず、楽しいひと時を過ごしました。心身ともに元気があればこそと参加できる喜びを感じながら、来年の再開を誓い合っています。

近年は参加者が高齢になったので、交通の便が良いと好評な京都駅八条口の「新都ホテル」で開催します。次回もここで行う予定です。皆さま万障お繰り合わせをいただき、多数ご参加ください。令和二年一月十五日（水）にお会いしましょう。
三十一年卒業の他のクラスの方々も是非ご参加ください。ご一報お待ちしております。

連絡先：〇七五・六三一・二〇五八



令和1年度
華頂学園同窓会

趣味のサロン 参加者募集！！

秋期

- 【秋期開講日】 令和1年10月～令和2年3月の（日曜日） 全6回
※日本舞踊は 10月～12月 月2回
※箏曲・生け花・かな書道は 10月～3月 月1回
【場 所】 高校内の和室・会議室・視聴覚教室で行います。

実施時間（各サロン午後1時～3時）

《箏曲(生田流)》 和室	講習日 10/13. 11/24. 12/22. 1/26. 2/23. 3/15 講師 昭34年卒 井元（吉井）優子氏 楽譜は数字の縦書きで、絃は十三本ですので、初心者の方でも触れば弾ける楽器です。 童謡から唱歌等楽しく弾き、お箏を通じて色々な施設でのボランティア活動を楽しんでみませんか。 お爪とお爪の輪（1,350円）はご購入下さい。
《日本舞踊(花柳流)》 和室	講習日 10/6. 10/20. 11/3. 11/17. 12/1. 12/15 講師 昭40年卒 大森 康世氏 初心者歓迎。着物または浴衣（足袋）でお出で下さい。 扇のない方はお貸します。 おなじみの曲を楽しくお稽古します。
《かな書道》 視聴覚教室(2F)	講習日 10/20. 11/10. 12/15. 1/19. 2/16. 3/15 講師 昭40年卒 森下 倫子氏（日展作家） 初心者大歓迎です。簡単な「かな書道」です。 懐かしい学校で1ヶ月に一度、仲間と共に筆で文字を書いてみませんか？お家にある「書道道具」などをお持ち下さい。
《生け花(都未生流)》 第1会議室	講習日 10/13. 11/10. 12/8. 1/19. 2/9. 3/8 講師 平2年卒 小田部（小野）訓子氏 基本花型を使った和風アレンジで季節の花を生けます。 必要なものは花バサミと花入れ（持ち帰り用）です。 一緒に花遊びをしてみませんか？ ※お花代が1回1,500円程度必要です。 （準備のため欠席される場合は毎回事前にご連絡願います。）

- ・お申し込み 華頂女子高等学校内 同窓会（9月13日（金）までお願いします。）
〈電話 075-541-0391 FAX 075-541-5962〉
- ・受講料 1講座（6回）3千円 郵便振込口座（京都 01010-1-81465）
〈振込用紙に「〇〇講座 希望」と明記して受講料を納入してください。〉

初心者の方大歓迎。多数のご参加をお待ちしております。

華頂学園同窓会ホームページ <http://www.kacho.ed.jp/dosokai/>